

瑞祥院

平成 31 年
1 月 274 号

昨年は、皆様大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【冬至】

昨年の冬至は、12月22日でした。仏教は冬至を特別視しません。冬至に拝むのは神道の行事です。しかし、瑞祥院は神仏習合寺院であることから、冬至に護摩を修法せよとお沙汰がおりましたので、この冬至から護摩を修法することと致しました。

冬至の一ヶ月ほど前から、人間の体はエネルギーを節約して生きようとしています。

人間は冬眠する動物ではありませんが、それでも動物ですから、太陽から多大な影響を受けます。太陽の力が最も弱まる冬至は、冬眠しない動物も、体は冬眠に近い準備をします。

ですからこの時期、朝起きれない・体が重いという方も多くおられます。

冬至を過ぎれば太陽の昇る時間が長くなっていきますから、冬至が要因となっている場合は、これらのしんどさも楽になっていきます。

このような、エネルギーの停滞しやすい冬至に護摩を焚くのは、瑞祥院の神仏に対して「冬至はエネルギー停滞しますよね。だから護摩を焚いて神仏にエネルギーをお渡しします。だからご加護お願いしますね！」という意味です。

今回の冬至に関しては、冬至に修法せよとお沙汰がおりたのが12月に入ってからでしたので、寺報で皆様にお知らせすることができませんでした。冬至の護摩は、神様のために焚きますが、祈願がおりの方はお焚き上げします。今年も冬至が近くなりましたら、寺報にてお知らせいたします。



右 このはなさくやひめのみこと
木花咲耶姫命

左 いわながひめのみこと
磐長姫命



御神鏡



おやまつみのみこと
大山積命

冬至は、神道の行事ですから神様主体で拝みます。ですから護摩の火にも、仏様ではな
く神様のお姿があらわれます。

【正月】

《新年祈祷・初供養》

元日・2日の新年祈祷は、今年は散華・對揚という声明をお唱えし、散華を撒きまして、華やかな祈祷となりました。初供養もしっかりと拝ませてくださいました。



【お滝修行】

1月22日に皆様もご参加いただけるお滝修行を致します。
参加を希望される方は、お早めにご連絡ください。

【近況】

紫蓉は現在、神仏からのお沙汰により「瑞祥院 寺門興隆」を毎日祈祷を致しております。自宅の自坊に、紫蓉個人の祭壇をお祀りしており、その祭壇で一週間拝みこんだ後、現在は瑞祥院にて線香護摩の寺門興隆祈願を致しております。

定例護摩供養・祈祷で焚く護摩は、修法に1時間から1時間半ほどかかり、またその準備・片付け等にも時間が必要ですので毎日焚くことは難しいのです。

しかし、線香を使った線香護摩では、30分ほどで焚くことができるので、日々修法をすることが出来ます。

線香護摩は息災護摩に比べて短時間で修法できますが、息災護摩の簡易版というわけではなく、息災護摩は息災護摩・線香護摩は線香護摩というそれぞれ一つの法でございます。

これからは、瑞祥院の祈祷にも一つ新しい祈祷の方法を御用意致しました。それは、毎日焚いている線香護摩での祈祷です。「一週間集中的に拝んでほしい」・「〇日に試験（手術・検査）があるから、その日まで拝んでほしい」・「今抱えている商談を成立させたい」など臨機応変に対応いたします。お布施は、祈願の結果が出ればお納めいただきます。結果がでなかった場合は必要ございません。これが今までと違う点となります。また、案件によって神仏より金額がおりてきますので、お布施の金額をここではお知らせすることができません。お問い合わせください。

【星供養】

星供養とは、生きていらっしゃる方の今年一年の無事を願う星祭りの祈願でございます。

12月号の寺報と一緒に、星供のご案内を差し上げておりますので、お申し込みの方はお忘れのないようお願い致します。

【行事予定】

《定例護摩祈祷・供養》

毎月一日・十五日 午後一時より二時半まで

《新発意 勉強会》

一月十三日 午後一時より四時まで

《ヨガ講習》

一月十八日 午前十時より十一時

以降 毎週金曜日 同時間（予定）

《写経写仏》

一月二十日 午後二時より四時まで

《お滝修行》

一月二十二日 （参加希望者はお早めにご連絡ください）

《星供養》

二月三日

《白鷹祭》

二月六日